

第1回放射線災害・医科学研究拠点カンファランス

日時：平成28年6月4日（土）13:25-

場所：長崎大学良順会館専斎ホール

【プログラム】

受付 13:00-13:25
開会の辞 長崎大学原研 永山雄二 13:25-13:30

分類1 放射線基礎生命科学

座長：宮崎泰司（長崎大学原爆後障害医療研究所血液内科学）

(1) 染色体転座形成前に起こるDNA二本鎖切断同士の会合を制御する因子 13:30-13:40
山内基弘¹、柴田淳史²、鈴木啓司³、鈴木正敏⁴、新美敦子⁵、近藤久義⁶、三浦美和⁷、平川美弥子¹、山下俊一³、松田尚樹¹
¹長崎大学原爆後障害医療研究所放射線生物・防護学、²群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット、³長崎大学原爆後障害医療研究所放射線災害医療学、⁴東北大学加齢医学研究所、⁵群馬大学未来先端研究機構、⁶長崎大学原爆後障害医療研究所放射線・環境健康影響共同研究推進センター資料収集保存・解析部、⁷長崎大学先導生命科学研究支援センターアイソトープ実験施設

(2) 染色体転座形成の分子機構—新しい進展 13:40-13:50
孫 継英¹、木野村愛子¹、原田昌彦²、田代 聡¹
¹広島大学原爆放射線医科学研究所細胞修復制御研究分野、²東北大学大学院農学研究科

(3) 組織反応を基盤とする放射線影響の解明 13:50-14:00
鈴木啓司
長崎大学原爆後障害医療研究所放射線災害医療学

(4) ゼブラフィッシュ初期胚における放射線応答の解析 14:00-14:10
本庶仁子、一戸辰夫
広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野

(5) 低線量被ばくした乳腺幹細胞は系統により異なる動態を示す 14:10-14:20
飯塚大輔、笹谷めぐみ、神谷研二
広島大学原爆放射線医科学研究所分子発がん制御研究分野

(6) 低線量率放射線照射の造血システムに対する影響 14:20-14:30
大野芳典¹、竹立恭子¹、山藤幹茂子¹、郭 芸²、菅野雅元²、白須直人³、安永晋一郎³、大坪素秋⁴、仲一仁¹、瀧原義宏¹
¹広島大学原爆放射線医科学研究所幹細胞機能学研究分野、²広島大学大学院医歯薬保健学研究院免疫学、³福岡大学医学部生化学、⁴別府大学食物栄養科学部発酵食品学科

休憩 14:30-14:40

座長：稲葉俊哉（広島大学原爆放射線医科学研究所分子病態研究分野）

(7) 低酸素シグナルによる DNA 損傷応答制御 14:40-14:50
谷本圭司¹、中村秀明²、坊農秀雅³、小野浩雅³、小田千代¹、末岡榮三朗²、江口英孝⁴
¹広島大学原爆放射線医科学研究所放射線医療開発研究分野、²佐賀大学医学部附属病院検

査部、³大学共同利用機関法人情報システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター、⁴埼玉医科大学ゲノム医学研究センタートランスレーショナルリサーチ部門

- (8) The role of autophagy in cancer stem cells in response to radiotherapy 14:50-15:00
Chen Yan、李 桃生
長崎大学原爆後障害医療研究所幹細胞生物学研究部門
- (9) 甲状腺細胞における放射線誘導性DNA二重鎖切断 15:00-15:10
に対する抗酸化剤の効果
蔵重智美、嶋村美加、永山雄二
長崎大学原爆後障害医療研究所分子医学研究分野
- (10) 新規遺伝性疾患 XRCC4 症候群の病態研究 15:10-15:20
中沢由華^{1,2}、郭 長万^{2,3}、賈 楠^{2,3}、嶋田繭子^{1,2}、光武範史^{2,4}、荻 朋男^{1,2,3}
¹長崎大学原爆後障害医療研究所ゲノム機能修復学研究分野、²長崎大学重点研究課題
NRGIC、³名古屋大学 環境医学研究所 発生・遺伝分野、⁴長崎大学原爆後障害医療研究所 放
射線災害医療学研究分野
- (11) 両方向遺伝学アプローチを用いた遺伝性小頭症の発症機構の解析 15:20-15:30
宮本達雄¹、政綱宜規¹、福満啓博¹、Silvia Natsuko Akutsu¹、細羽康介¹、山本 卓²、清
水健司³、大橋博文³、森野豊之⁴、川上秀史⁴、松浦伸也¹
¹広島大学原爆放射線医科学研究所放射線ゲノム疾患研究分野、²広島大学大学院理学研究
科数理分子生命理学専攻、³埼玉県立小児医療センター、⁴広島大学原爆放射線医科学研究所
分子疫学研究分野
- (12) 時計遺伝子 DEC1 による Na-K-ATPaseβ1 を介した血圧日内変動の調節 15:30-15:40
中島 歩¹、東 幸仁²、野間玄督²、加藤幸夫³
¹広島大学原爆放射線医科学研究所低線量放射線リスク研究センター、²広島大学原爆放射
線医科学研究所ゲノム障害病理研究分野、³広島大学大学院医歯薬保健学研究院探索医科学

休憩 15:40-15:50

分類2 放射線（臨床）医科学

座長：中島正洋（長崎大学原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理学研究分野）

- (13) 長崎原爆被爆者にみられた骨髄異形成症候群について 15:50-16:00
宮崎泰司¹、松尾真稔¹、蓬萊真喜子¹、田口正剛¹、佐藤信也¹、糸永英弘¹、澤山 靖¹、
波多智子¹、岩永正子²
¹長崎大学原爆後障害医療研究所血液内科学、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科フロン
ティア生命科学
- (14) 放射線誘発 MDS に特徴的な多核赤芽球出現のメカニズム 16:00-16:10
長町安希子¹、尾崎佑子¹、金井昭教¹、松井啓隆²、稲葉俊哉¹
¹広島大学原爆放射線医科学研究所、²熊本大学病院・中央検査部
- (15) Histopathology of thyroid cancer detected during sequential 16:10-16:20
screenings in the Ukrainian-American Chernobyl cohort.
Tetiana I. Bogdanova^{1,2}, Alina V. Brenner³, Liudmyla Yu. Zurnadzhly¹, Yuri E. Nikiforov⁴,
Ilya A. Likhtarov⁵, Kiyohiko Mabuchi³, Mykola D. Tronko¹

¹ State Institution 'V.P. Komisarenko Institute of Endocrinology and Metabolism of the Academy of Medical Sciences of Ukraine', Ukraine, ² Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Japan, ³ National Cancer Institute, NIH, USA, ⁴ University of Pittsburgh School of Medicine, USA, ⁵ State Institution 'National Research Center for Radiation Medicine of the Academy of Medical Sciences of Ukraine', Ukraine

- (16) Association of rs965513 with risk for sporadic papillary thyroid carcinoma in Kazakh population. 16:20-16:30

Mussazhanova Zhanna¹, Rogounovitch Tatiana², Saenko Vladimir³, Krykpayeva Ainur⁴, Zhumanbayeva Zhanar⁴, Azizov Bayurzhan⁴, Espenbetova Maira⁴, Kunslyamova Togzhan⁵, Tuleutayev Mukhtar⁶, Shunichi Yamashita³, Masahiro Nakashima¹

¹Department of Tumor and Diagnostic Pathology, Nagasaki University, ²Department of Global Health, Medicine and Welfare, Nagasaki University, ³Department of Radiation Molecular Epidemiology, Nagasaki University, ⁴Semey State Medical University, Semey, Kazakhstan, ⁵Shakarim State University, Semey, Kazakhstan, ⁶Oncology Center, Astana, Kazakhstan.

- (17) 長崎大学における Initiative on Rare and Undiagnosed Disease in Pediatrics (IRUD-P)解析についての報告 16:30-16:40

吉浦孝一郎¹、木下 晃¹、三嶋博之¹、林田知佐¹、近藤達郎²、渡邊順子³、伊達木澄人⁴、要 匡⁵、松原洋一⁵

¹長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学、²社会福祉法人聖家族会みさかえの園むつみの家、³久留米大学小児科、⁴長崎大学小児科、⁵成育医療研究センター

- (18) 優性遺伝性脊髄小脳変性症の新規原因遺伝子 CACNA1G の同定 16:40-16:50

森野豊之¹、松田由喜子¹、六車恵子²、宮本涼介¹、大沢亮介¹、大竹敏之³、音部玲子⁴、渡辺雅彦⁵、丸山博文⁶、橋本浩一⁷、川上秀史¹

¹広島大学原爆放射線医科学研究所分子疫学研究分野、²理化学研究所多細胞システム形成研究センター、³荏原病院神経内科、⁴広島大学病院遺伝子診療部、⁵北海道大学大学院医学研究科解剖発生学分野、⁶広島大学大学院医歯薬保健学研究院脳神経内科学、⁷広島大学大学院医歯薬保健学研究院神経生理学

- (19) 小児 CT 利用の日独比較研究 16:50-17:00

工藤 崇¹、吉田浩二²、高村 昇³

¹長崎大学原爆後障害医療研究所アイソトープ診断治療学研究分野、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻、³長崎大学原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学研究分野

- 休憩 17:00-17:10

分類3 放射線・災害保健医療

座長：保田浩志（広島大学原爆放射線医科学研究所・線量測定評価研究分野）

- (20) 福島県川内村における放射線被ばくリスク評価、リスクコミュニケーションの展開 17:10-17:20

高村 昇

長崎大学原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学

- (21) 放射線災害対応において防護量を用いる難しさとその克服に向けて 17:20-17:30

保田浩志

広島大学原爆放射線医科学研究所・線量測定評価研究分野

- (22) ABS データにおいて DS02 準拠の原爆線量評価体系を用いた場合の固形がん死亡リスクについて 17:30-17:40
佐藤健一¹、富田哲治²、大谷敬子¹、佐藤裕哉³、原 憲行¹、川上秀史¹、瀧原義宏¹、星正治⁴、大瀧 慈⁴
¹広島大学原爆放射線医科学研究所、²県立広島大学経営情報学部、³下関市立大学、⁴広島大学名誉教授
- (23) 長崎市及び五島市における被爆者健康講話同時開催の取り組みと実績 17:40-17:50
林田直美¹、新川哲子²、智多正信³、浦田秀子⁴、高村 昇⁴
¹長崎大学原爆後障害医療研究所共同研究推進部、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻、³国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、⁴長崎大学原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学研究分野
- まとめと閉会の辞 広島大原医研 松浦伸也 (10分) 17:50-18:00